

伊賀市のNPO法人「スポーツクラブどんぐり」が運営する子ども向けサッカースタジアムが、同市野村に完成した。安全を考えた人工芝のピッチを昨年8月にプレオープンした後、発光ダイオード(LED)

の大型ビジョンや有料のメインスタンド、スピーカーを新たに設けた。16日には記念セレモニーに続き大会が開かれ、多くの小学生らが伸び伸びとプレーした。

(河野晴気)

子ども向けサッカー場完成



その名も「どんぐりパー
ク」子どもスタジアム」は縦
六十桁、横九十六桁の広さ
で、小学校低学年なら二面

伊賀のNPO法人安全考えた人工芝使用

分になる。天然ヤシ素材を
使った人工芝は転んでもけ
がをしにくく、夏場の温度
上昇も抑える。ゴールや製
氷機といった備品はクラウ
ドファンディングでまかな
い、保護者を含む来場者は
今年七月までの一年間で既
に延べ六万二千人に上る。
観客席は無料の六百五十
五席のほか、メインスタン
ド二階に百六十席を用意。
一席三百円でチケット代わ
りの飲料を購入すると、高

大型ビジョンや客席付き

④高い場所から試合を一望できる有料のメインスタンド
＝いずれも伊賀市野村で ⑤LEDビジョンを備えた人
工芝のグラウンドで伸び伸びプレーする子どもたち



さ六桁ほどの場所から全体
を見渡せる。一階にはトイ
レやシャワー室、身長や体
重の変化を計測できる器材
もそろえた。

どんぐりは小中学生のサ
ッカークラブ「FCアヴェ
ニータン」を運営してい
るが、地域のグラウンドが
少なく、自由に借りられな
いなどの問題があった。理
事長の中田純一さん(五)は
「目標を高く持った選手た
ちをしっかりと応援できる体
制を整えたかった。いろん
な方の協力で、いいものが
できて感無量」と話した。

セレモニーでは大型ビジ
ョンによる施設の紹介やP
K対決が行われた。大会は
小学四年生以下を対象に伊
賀上野ケーブルテレビが主
催。市内の十六チームがト
ーナメント形式で争った。

スタジアムは利用予約も
受け付けており、一般は平
日一時間四千五百円から。

⑥NPO法人スポーツクラ
ブどんぐり事務局 059